

平成 29 年 3 月 7 日
九州地方整備局
筑後川河川事務所

～地域住民の方々へ蒲田津排水ポンプ場の

大規模な整備状況の見学会を開催～

【現場見学会】

- 開催日時 : 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 10:30～11:00
場 所 : 蒲田津ポンプ場 (諸富出張所)
佐賀県佐賀市蓮池町大字小松三本松 250
内 容 : 工場整備したポンプ羽根車の組込み前状況 (別紙参照)

筑後川河川事務所では、全国に先駆けて昭和 20 年代から内水対策としてポンプ場を整備してきました。現在では、筑後川流域と矢部川流域に合わせて 23 施設のポンプ場を直轄管理しており、その中でも最大規模の排水能力を持つ蒲田津ポンプ場は、毎秒 60 m³ の排水能力で佐賀市内の内水被害を軽減する役割を果たしております。

蒲田津排水ポンプは昭和 60 年 3 月に稼働開始し、前回 (H16 年度) の大規模な整備より約 15 年経過することから、排水機能を維持するために排水ポンプ本体整備を行っております。

今回、内水被害軽減のため稼働しているポンプ場の普段見ることができない内部の状態を間近に見ることができるため、地域住民の方々への現場見学会を開催いたします。

※この記者発表の内容については、筑後川河川事務所のホームページで
公表しています。

【筑後川河川事務所ホームページアドレス】 <http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/>

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所

副 所 長 大野 誠 (おおの まこと)
管理課長 南嶋 哲郎 (なじま てつろう)
T E L 0942 (33)9131 (代表)

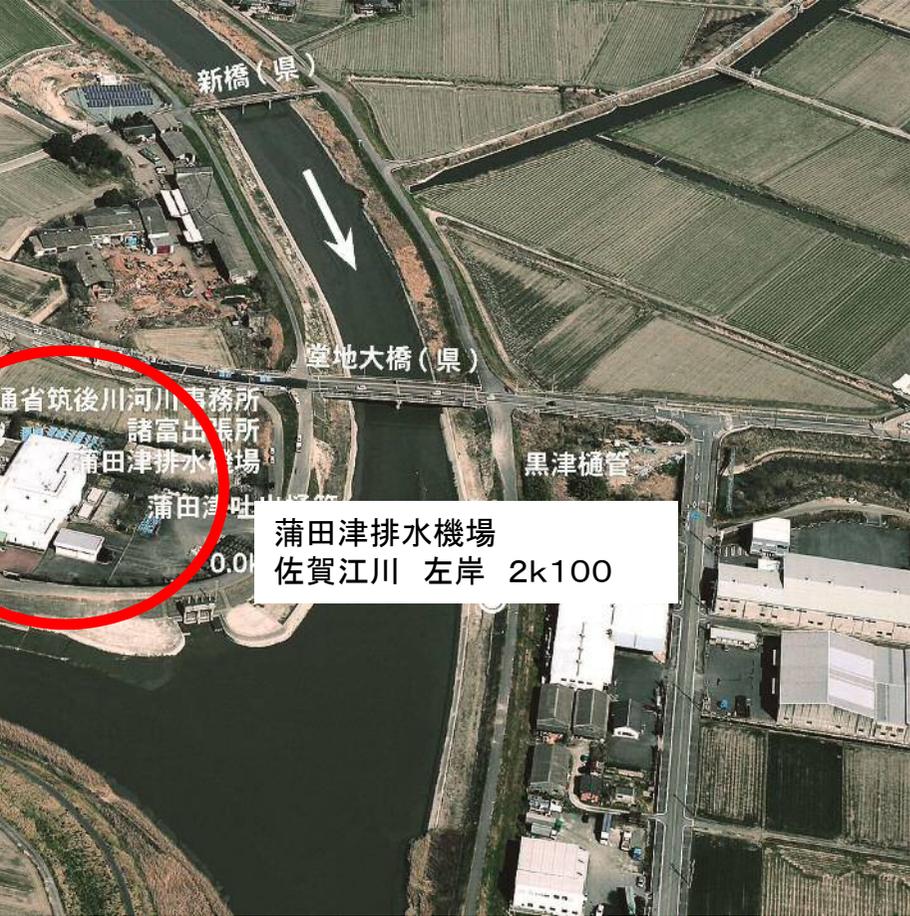
蒲田津排水機場の紹介

蒲田津排水機場の目的と概要

目的：佐賀江川からポンプ排水し、佐賀市内の内水被害を軽減します。

完成年度：昭和59年度

排水能力：60m³/sec (30m³/sec × 2台)



蒲田津排水機場
佐賀江川 左岸 2k100

蒲田津ポンプの規模とその整備状況



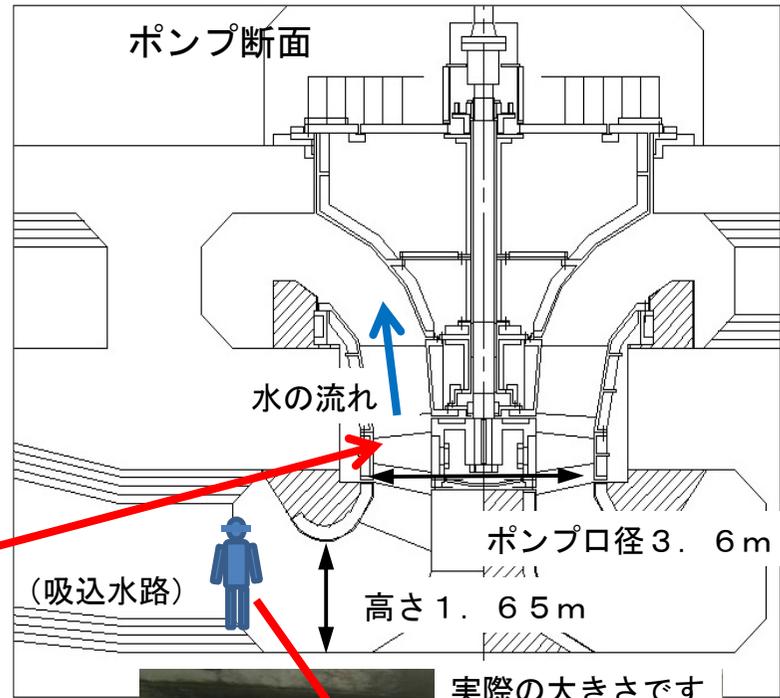
羽根の外径は3.6mです

工場整備完了した羽根車
(H29年2月)



整備前の羽根車
(H28年11月)

ポンプ口径 : 3.6m
ポンプの形式: 立軸軸流ポンプ
(コンクリートケーシング構造)
ポンプの大きさは、九州で最大規模です。
(ポンプの大きさはポンプ口径で示されます。)



実際の大きさです



吸込水路の中